

## 第2回「子どもと親のSOSをキャッチする仕組みを考える」シンポジウム

# 高等部卒業後の子どもと親のくらしを考える

今回のテーマは

2020年7月16日、京都市内で総合支援(特別支援)学校高等部2年生の少年が母親の手により命を奪われる事件が起こりました。その時から1年がたちます。この事件を我がことと受け止めた親や専門家が集まり、意見を交わしました。親の想いをたくさんの方と一緒に考えたいと第1回のシンポジウムを開催しました。全国から100名以上の方がオンラインで参加して下さいました。悩みの数々、学びの重なり、語ること、つながることの大切さを再確認しました。

その後も話し合いを続け、今回は学校卒業後の子どもと親のくらしに焦点を当てた企画にしました。理由は今回の事件の背景に、卒業後の進路についての不安がお母さんを悩ませ追い詰めたことがあるのではないか、と考えるからです。これからの先の子どもの長い人生に、親としてどのように向き合うのか、残念ながら保護者に伝わらない情報が多すぎます。それでも不安になるよりも、ちょっと先輩の保護者や専門家の話を聞いてみませんか？知った情報や考えるきっかけになるポイント満載です。

## 2021年9月1日(水)10時から12時まで (オンラインで開催)

### 内容は？

- ・企画趣旨説明(池添さん)
- ・「成人期の親と子どものくらしを考える(田中智子さん(佛教大学))
- ・卒業後のくらしでめざしたいこと～地域の有名人にする、家事をする、一人で留守番をする～  
(板野さん)
- ・家族も自分の人生を生きたい～グループホームに入居した我が家の場合～(沖田さん)
- ・家族も安心できる、入所施設のくらしの場を求めて～今できることを探してみる～(大西さん)
- ・成年後見制度は、親なきあとの決め手となるのか～成年後見制度の限界～(竹口さん)
- ・意見交流
- ・まとめ

